

## IPO銘柄 **ズーム** (6694・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6694	100株	公募: 21.00万株 売出: 42.10万株 (OA9.46万株)	1,460円~1,520円 (13.7倍)	野村証券



## オーディオレコーダーを中心に音楽用電子機器を展開

### ■ 事業内容

音楽用電子機器の専業。主力のハンディオーディオレコーダーは売上高の約6割を占める。非圧縮音声で録音する高音質ニアPCMレコーダーで、ロックミュージックを演奏するミュージシャン向けに開発したが、デジタル一眼レフで動画を撮影するクリエイターにも音声レコーダーとして使用されている。音響効果を与えるための機器であるマルチエフェクターは、デジタル処理を行った複数のエフェクトを内蔵。1990年にギターのストラップに取り付けるとこのできる小型マルチエフェクター「9002」を発売して以降、様々なモデルを市場に投入してきた経緯がある。このほか、ハンディビデオレコーダーやマルチトラックレコーダー、オーディオインターフェースなどを手掛けている。音楽用電子機器市場の単一業態。

### ■ 特徴

中国の協力工場を用いた生産を行い、欧米やアジアといった海外売上高が約9割を占めるグローバル企業。モノづくりをベースとした研究開発型企業で、音楽市場の拡大も目指し、初心者やアマチュアを大事にした製品開発に力を入れている。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

17年12月期の連結経常利益は前期比45.9%増の2億9,900万円と予想している。ハンディオーディオレコーダーなどの新製品動向が注目されるほか、海外売上高比率の高さから為替市場の動向にも大きな影響を受ける収益体質となっている。

### ■ 定性分析

ニッチ分野に特化したグローバル企業で、新興市場らしいメーカー系企業だが、成長イメージはそこまで強くない。為替市場の影響を強く受ける円安メリット株であり、一方で米国が音響機器の最大市場であることから米国景気の動向にも影響を受ける。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約11億円。ベンチャーキャピタル保有株には公開価格の50%高水準までのロックアップが掛けられている。特段の荷もたれ感はないが、資金が集中するタイプでもなく、穏健なスタートとなりそうだ。(小泉健太)

### ■ 類似企業

ズーム(6694・JASDAQ)	予想PER13.7倍 (仮条件上限)
オンキヨー(6628・JASDAQ)	予想PER36.7倍
ティアック(6803・東証1部)	予想PER258.8倍

### ■ 引受証券

野村証券、SMBC日興証券、みずほ証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SBI証券、いちよし証券、東洋証券、SMBCフレンド証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年12月期(実績)	5,950	14.1	447	▲0.6	403	▲3.6	201.9	20.0
16年12月期(実績)	5,969	0.3	204	▲54.4	179	▲55.6	89.7	20.0
17年12月期(会社予想)	6,019	0.8	299	45.9	238	33.3	110.7	未定

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年12月期	666,004	4,986	3,588	42	1,796.1	72.0	12.5
15年12月期	1,998,012	5,235	3,928	42	1,966.2	75.0	10.7

※ 15年8月に株式分割(1株→3株)を実施。14年12月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	飯島 雅宏	600,000	27.51
1	荻戸 道人	600,000	27.51
3	ズーム社員持株会	159,012	7.29
4	Sound Service Musikanlagen- Vertriebsgesellschaft mbH	150,000	6.88
5	松尾 泉	126,000	5.78
6	S.E Goodman Holdings, LLC	75,000	3.44
6	Scott Rudolph	75,000	3.44
8	みずほ成長支援投資事業有限責任組 合	60,000	2.75
9	Mogar Music S.p.A	42,000	1.93
10	AGSコンサルティング	30,000	1.38

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長 CEO	飯島 雅宏
取締役 CTO パーチェシングディ ビジョンヴァイスプレジデント	荻戸 道人
取締役 CFO アドミニストレーショ ンディビジョンヴァイスプレジデ ント	山田 達三
取締役(監査等委員)	横山 和樹
取締役(監査等委員)	高橋 鉄
取締役(監査等委員)	山根 深

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。